2010年度　神経系Ⅱ　本試験

1枚目　飯塚先生（ほぼ過去問通り）

１．垂直注視中枢（宮坂資料４番）

２．直接対光反射　間接対光反射（宮坂９）

３．複視（交差性）（宮坂１１）

４．上斜筋による複視（宮坂１１）

５．上斜筋（宮坂１）

６．myotonic dischargeを示す疾患のひとつを答えよ。

７．周期性同期性放電を示す疾患を三つあげよ

８．髄液検査で糖の低下と単核球優位の細胞増加を示す疾患を二つ挙げよ。

2枚目　阿久津先生

１．選択問題

画像あり

病歴：高血圧・右手筋力低下・左方共同偏視

　 病巣はどこか

２．MSについて、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

 （　○　）急性期には副腎皮質ステロイド使用する。

 （　×　）予防にはIFN－αが有効である。

 （　×　）病態は液性因子（抗体産生）によるものである。

 （　○　）時間的・空間的・多相的・多発性の病態である。

３．感覚神経症状が現れるものはどれか、二つ選べ

1. Sjogren症候群
2. 癌性ニューロパチー
3. 鉛中毒
4. Ramsey-Hunt症候群
5. GBS
6. Fisher症候群

４．不随意運動について、適当なものを選択肢から選び（　）に入れよ。

 １．羽ばたき振戦（　　　）

 ２．バリズム （　　　）

 ３．アテトーゼ （　　　）

選択肢 a.ハンチントン b.Wilson病　c.視床出血

d.脳性マヒ　e.甲状腺機能亢進 f.クロイツェルト・ヤコブ病

3枚目　望月先生

１．CT画像二枚　（橋の萎縮していたもの）（前頭葉萎縮し、脳室が拡大していたもの）

これらの画像に当てはまる疾患はそれぞれどれか

1. 多系統萎縮症
2. アルツハイマー病
3. ハンチントン舞踏病
4. 進行性核上性マヒ
5. 不明

２．６５歳女性、動きが鈍くなり、右手の震え、小刻みな歩行があった。

　（１）ありえない疾患はどれか

 a　線条体黒質変性症

b　小脳皮質変性症

c　パーキンソン病

d　進行性核上性マヒ

e　レビー小体性認知症

（２）L-ドーパを投与して効果があり、認知症・眼球運動障害はない。

この疾患はどれか。

 a　線条体黒質変性症

b　小脳皮質変性症

c　パーキンソン病

d　進行性核上性マヒ

e　レビー小体性認知症

（３）L-ドーパを２～３ヶ月使いつづけると、薬の効果が減弱した。この現象をなんと言うか。

a.Wearing off b.On-off c.悪性症候群

d.不明 e.不明

（４）その後寝たきりとなったが、眼球運動障害や認知症はなかった。

この段階は以下のどれか？YahrのⅠ～Ⅳのうち、いずれの段階か。

4枚目　濱田先生

１．心原性脳梗塞と、アテローム性脳梗塞の慢性期の予防薬を上げ、それらを使い分ける理由を述べよ。

２．トリプタン系製剤を片頭痛に使用したときの機序を記せ

３．てんかんの発作を大急ぎで止めなければならない理由を述べよ。

5枚目　鈴木先生

１．CT所見で外傷疾患である。（CT画像：たぶん硬膜外血腫のもの）

臨床症状と放射線検査所見とその治療法について述べよ。

２．慢性硬膜下血腫について、症状と放射線所見とその治療について述べよ。

6枚目　荻野先生

AGL

MG

筋硬直性ジストロフィー

の中からひとつ選び、その知るところをかけ。

7枚目　藤井先生

1. 頭蓋内圧亢進症と脳ヘルニアについて、その病体の進行に伴う神経徴候と病巣との関係を説明せよ。
2. 脳脊髄機能局在の同定方法と、手術時の機能温存方法について、知るところを述べよ。

8枚目　清水先生

１．髄節は（　　）個あり、そのうち頚髄は（　　）個、仙髄は（　　）個である

２．４番目と５番目の頚椎から出る神経は（　　）である。

 胸椎の１番と２番の間から出る神経は（　　）である。

1. 腱反射の中枢で、

上腕二頭筋反射の主な中枢 ＝（　　）

上腕三頭筋 ＝（　　）

1. デルマトームにおいて支配域は

親指＝（　　　）

乳頭＝（　　　）

そけい部＝（　　）

第一趾＝（　　）

である。

9枚目　滝山先生　選択肢重複不可

1. 筋緊張について。

亢進する場合＝（　　）（　　　）が障害

低下する場合＝（　　　）（　　　　）の障害

a錐体路　b錐体外路　c２次運動ニューロン　d小脳　e後索

1. 頚髄の３番目の半側障害時、

下顎反射＝（　　　　）

上腕二頭筋反射＝（　　　　）

　a陽性　b亢進　c減弱　d陰性

1. ブラウン・セカール症候群の時、傷害される部位は

損傷したレベルの病側では、（　　）（　　）

損傷したレベルより下の病側は（　　）（　　）

損傷したレベルより下の健側は（　　　）

　a温痛覚　b深部感覚　c全感覚　d錐体路　e２次運動ニューロン

４．脊髄性運動失調で特徴的な所見は（　　）（　　）深部感覚障害　ロンベルク徴候

前庭性運動失調に特徴的な所見は（　　）（　　）回転性めまい　眼振

深部感覚障害・ロンベルク徴候・小脳障害・四肢失調・回転性めまい・眼振

５．硬直が出るのは（　　　　）

痙縮が出るのは（　　　　）

　a錐体外路　b錐体路　c小脳失調　　　d

10枚目　永井先生（授業プリントには掲載されていない問題が多い。授業をしっかり聴き取ること）

１．以下の選択肢から正しいものを選べ。

a．不明

b．不明

c．CAGリピートは正常な人にも存在する。

d．SAMが兄弟発症すると、兄の方が重症である。

e．ジョセファン病はCAGリピート病で、遺伝するごとに症状がひどくなる。

２．多系統委縮症について正しいものを選べ。

a．小脳運動失調が出る

b．排尿障害が出る

c．舌の委縮が出る

d．橋が委縮する

e．中脳の放射状の…がある

３．アルツハイマー認知症について正しいものを選べ。

a．不明

b．若年発症すると、パーキンソン病が出る

c．不明

d．MRIで、大脳皮質の委縮が見られる

e．不明

４．プリオン蛋白・ヤコブ病について、正しいものを選べ。

a．プリオン蛋白は正常な脳にはいない

b．亜急性に発症する認知症で発症する

c．角膜移植で発症した例はない

d．MRIで…

e．プリオン蛋白はイソジン10%で消毒可である。

５．ウェルニッケ脳症について、正しいものを選べ。

a．三徴は歩行障害・眼球運動障害・…である。

b．低栄養・慢性アルコール中毒の人に好発する。

c．ブドウ糖による栄養療法を行う

d．ビタミンC補給で治る

e．MRIでは中脳黒質に異常がみられる